
仔犬、颯爽と。

水沢ちぬあ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

仔犬、颯爽と。

【Nコード】

N4891G

【作者名】

水沢ちぬあ

【あらすじ】

前にも掲載した詩です。仔犬の目線で書きました。この詩は一番気に入っているのです、たくさんの人に見てもらいたいと思い、再び新規投稿しようと思いました。ゆったりと読んでみてください。

颯爽と、風の吹く。

どこまでも続く野原。走る、走る。

洗いたての白い毛並みをたなびかせ、走る。

青い空、白い雲、赤い小鳥、黄色い花、緑の匂い。

茶色い友達、丸まった尻尾を振って、一緒に走る。

颯爽と、風の吹く。

君は、息を切らして追い駆けてくる。

立ち止まって、振り返る。

赤いリボンの麦藁帽子、白いスカート、黒い綺麗な目。

遠くへ飛んでく黄色いボール。また、走る、走る。

茶色い友達、競争。

「負けないよ」「こっちこそ」

並んで走る僕ら二人を、君はまた息を切らして追い駆ける。

颯爽と、風の吹く。

池の淵、並んだ影、三つ分。

透明な水、青空と緑を溶かして。

オレンジ色の鯉、絵の具を混ぜるように、泳ぐ、泳ぐ。

白い蝶、ひらひらと、飛ぶ。

君の麦藁帽子に留まって、君、笑う。

入道雲ののぼる空、蝶、羽ばたく。

颯爽と、風の吹く。

赤く染まりかけた夕空を、見上げながら、歩く。

茶色い友達、お別れ、またねと丸い尻尾、振った。

君、歩きながら、歌う。

いつも君が歌っている歌。僕みたいな犬が出て来る歌。

僕、笑う、笑う。君も、笑顔、笑顔。

カラス、鳴く。遠くの山へ。僕らも、帰る。

いつもの日常。楽しい日常。

君、いつまで僕のそばに、いてくれる？

言葉は通じないはずなのに、君、言った。

「ずっと一緒だよ」

僕、笑って返事した。

「うん」

ずっと一緒にいようね。

こんな幸せ、続くといいね。

また明日も、茶色い友達誘って、

またあの野原、行こう。

(後書き)

何か感じていただければ、これ幸いです。
感想・評価、よろしく願います。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4891g/>

仔犬、颯爽と。

2011年1月8日20時06分発行